

離島・過疎地における塩の取扱い状況調査

公益財団法人塩事業センター

令和4年（2022年）3月

1. 調査目的

離島および過疎地における「生活用塩」（生活用に使用される塩）の供給状況について確認するため調査を行った。なお「生活用塩」とは主に小売店を通じて販売され、家庭用および飲食店等において使用されるものであり、公益財団法人塩事業センターの塩（以下「センター塩」という。）のほかに他社の塩も含まれる。

2. 調査概要

(1) 調査対象

①離島

令和3年4月1日時点で日本の島嶼構成は本土5島を含めて6,852島あり、そのうち本土を除く有人島は416島ある。このうち、303島が離島振興にかかる4法（離島振興法、奄美群島振興開発特別措置法、小笠原諸島振興開発特別措置法、沖縄振興特別措置法）の適用を受けている。これら振興対象離島に所在する、塩の取扱いが想定される食料品店を対象とした（185島1,722店）。

②過疎地

令和3年1月1日時点で全国の市町村数は1,718市町村であり、このうち過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第2条、第41条第1項および第42条の適用を受ける671市町村に所在する、塩の取扱いが想定される食料品店を対象とした（16,629店）。ただし、過疎地のうち離島にも該当する場合には、離島の食料品店として区分し集計した。

(2) 調査項目

①センター塩および他の生活用塩の供給状況

②センター塩「食塩 1kg」および塩以外の生活用基本食材として小売物価統計調査（総務省統計局）にて採用されている「みそ 750g」「しょう油 1ℓ」の販売価格状況

(3) 調査方法

電話聴取による調査とした。

離島においては全数調査とし、過疎地においては対象店舗が多数あることから、統計的に十分なデータを得るために400店以上の回答を得るよう無作為抽出調査とした。

(4) 調査期間

令和3年（2021年）8月16日（月）～令和3年（2021年）9月9日（木）

3. 調査結果

(1) 有効回答数

有効回答数は表1の通りである。

表1. 有効回答数

	店数	島数・地域数
離島	505店	132島
過疎地	468店	315市町村

(2) 生活用塩の取扱い状況

①生活用塩の取扱店率

有効回答のあったすべての店で生活用塩の取扱いがあった。

センター塩を取り扱う食料品店の比率（取扱店率）は表2の通りである。センター塩の取扱店率は、離島、過疎地ともに約9割と高い。

表2. 生活用塩の取扱店率

	センター塩	他の生活用塩
離島	89.3%	51.1%
過疎地	91.2%	50.4%

(参考) センター塩のみの取扱店率と他の生活用塩のみの取扱店率

	センター塩のみの 取扱店率	他の生活用塩のみの 取扱店率
離島	48.9%	10.7%
過疎地	49.6%	8.8%

②生活用塩の取扱島率

有効回答のあったすべての島で生活用塩の取扱いがあった。

生活用塩を取り扱う食料品店が所在する離島の比率（取扱島率）は表3の通りである。センター塩の取扱島率は9割を超えている。

表3. 生活用塩の取扱島率

	センター塩	他の生活用塩
離島	91.7%	67.4%

(3) センター塩および塩以外の生活用基本食材の販売価格

センター塩の離島・過疎地における価格と都市部での価格に開差があるかどうかを確認するため、センター塩「食塩 1kg」について販売価格を確認した。

併せて、塩以外の生活用基本食材との比較をするために、「みそ 750g」、「しょう油 10」の販売価格についても確認した。

平均販売価格は、対象となる都市部価格を 100 とした場合の離島・過疎地の平均販売価格を指数化し比較した。

①離島の販売価格

センター塩「食塩 1kg」、「みそ 750g」および「しょう油 10」の離島と都市部における平均販売価格とその価格指数は、表 4 の通りである。

センター塩「食塩 1kg」の離島の価格指数は 105.7 であり、塩以外の生活用基本食材に比べて都市部との開差が小さい。

表 4. 離島と都市部の価格比較 (税込)

	食塩 1kg	みそ 750g	しょう油 10
離 島	132.5 円	418.3 円	434.6 円
都市部(※)	125.4 円	285.9 円	304.2 円
価格指数	105.7	146.3	142.9

※都市部：有効回答のあった食料品店に対応する近隣都市部の平均価格。

- ・センター塩「食塩 1kg」は、POS データ (㈱KSP-SP 提供) における 2021 年 8 月の地域別都市部価格を適用 (表 5 も同)。
- ・「みそ 750g」、「しょう油 10」は、2021 年 8 月の小売物価統計調査における県庁所在地の価格を適用 (表 5 も同)。

②過疎地の平均販売価格

センター塩「食塩 1kg」、「みそ 750g」および「しょう油 10」の過疎地と都市部における平均販売価格とその価格指数は、表 5 の通りである。

センター塩「食塩 1kg」の過疎地の販売価格指数は 102.0 であり、塩以外の生活用基本食材に比べて都市部との開差が小さい。

表 5. 過疎地と都市部の価格比較 (税込)

	食塩 1kg	みそ 750g	しょう油 10
過疎地	130.0 円	360.4 円	374.3 円
都市部	127.5 円	323.9 円	283.5 円
価格指数	102.0	111.2	132.1

4. まとめ

- ・本調査の結果、有効回答のあったすべての離島・過疎地で生活用塩の取扱いがあり、離島・過疎地において生活用塩の入手に支障がない状況であることを確認した。中でも、センター塩の取扱店率は離島・過疎地ともに約9割と高く、取扱店率も9割を超えており、離島・過疎地において広く流通していることを確認した。
- ・センター塩「食塩 1kg」は、近隣都市部の平均販売価格を100とした場合、離島の平均販売価格指数が105.7、過疎地では102.0と、塩以外の生活用基本食材と比べて都市部との開差が各々小さく相対的に安定した価格で販売されていることを確認した。
- ・なお、今回の調査対象のうち、有効回答の得られなかった過疎地356市町村については、すべての市町村にセンター塩の契約販売店が存在していることを確認している。